



2021年9月28日

東日本旅客鉄道株式会社

## 日本ボッチャ協会とのゴールドパートナー契約を3年間延長！ 引き続きボッチャ日本代表を応援します。

東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」)はESG経営を実践し、事業を通じて社会的な課題の解決やSDGs※1の達成に取り組んでいます。

JR東日本は、2020年8月1日から一般社団法人日本ボッチャ協会(代表理事・澤邊芳明、以下「日本ボッチャ協会」)のゴールドパートナーとなりましたが、2021年10月以降も、3年間、ゴールドパートナーを継続し、引き続き、ボッチャ日本代表に対して合宿での練習環境を提供します。

障がいの有無や年齢等にかかわらず楽しむことが可能なボッチャを通じ、共生社会の実現に向けた取り組みの継続およびレガシー化、地域社会への貢献に努めてまいります。

※1 SDGs：国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標のことで、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

### 1. 協賛カテゴリー ゴールドパートナー

### 2. 契約期間 2021年10月1日～2024年9月30日

### 3. 主なサポート内容

- (1) JR東日本施設(福島県白河市・JR東日本総合研修センター内)を、ボッチャ日本代表合宿での練習環境として提供
- (2) 同施設内で行われるボッチャ日本代表合宿にあわせて必要なサポートを行うほか、日本ボッチャ協会が実施する地域貢献事業等との連携の検討



### 4. ボッチャについて

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツであり、パラリンピックの正式な競技です。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのボールを投げる等により、いかに近づけるかを競います。